平成 27 年度 佐野小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会まとめ

開催日 平成 27 年 11 月 12 日 (木) 会場 北上文化プラザ

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

佐野自治会	見晴台自治会	北上地区地域包括支援センター
三島市立伊豆佐野保育園	佐野小学校	佐野小学校 PTA

団体名

佐野小学校支援地域本部 交通安全母の会 北上中学校 環境美化推進員会 体育振興会 佐野子ども会

見晴台子ども会 消防団第5分団

※当日参加者 19 名

【地域の情報交換】



~各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力のお願い~

●交通安全母の会連合会:交通安全のポスター作成やお母さんのための自転車講習会、大通り祭りへの

出展などの活動を行い、交通安全の意識を高める活動を行っている。

●伊豆佐野保育園:子育て広場を開催し、園庭開放等を実施中。甘藷祭りへの参加やデイサービ

スなでしこさんとの交流など、地域との交流を深めている。

●北上地区安全推進協議会:毎月第3 土曜日夕方~夜間の青色回転灯パトロールを実施中。

●佐野小学校支援地域本部:4月に立ち上がった。花壇整備のボランティア募集中。スクールガードがな

いので、散歩中に腕章をつける等の見守りに参加してくださると嬉しい。

●地域包括支援センター:高齢者やそれに関わる家族のニート問題などの相談にも乗っている。

く会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
①みんなが活躍できる防災訓練を企画してみよう!・・・・・・・・・ 8	人
②消防団を地域で支えるための具体的な取り組みを実践しよう!・・・・・・・ 3.	人
③佐野と見晴台の交流を深める取り組みを実践しよう!・・・・・・・・・ 8	人
④その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ O.	人

※アンケートの結果、①と③に分かれ話し合いました。

テーマ別会議①:「みんなが活躍できる防災訓練を企画してみよう!」

現状・課題	解決策	取り組めそうなこと(案)
・昨年の見晴台の訓練は充実 ・様々な体験ができた ・高齢者施設では、7日間の備蓄をしている	・佐野小を核とした訓練	●佐野と見晴台の合同訓練 ・水の浄化と炊き出しを佐野と見晴台合同でやってみたい(2年に1度でもやれると良い) ・佐野小(避難所)での運営訓練必要
・1 人で不安でいる方などは、公共施設などで受け入れが可能な体制がある・市や高齢者施設が、被災者をフォローすることができる体制がある	 ・発災前後に分けた訓練 ・佐野では、今年新しい試みを予定(黄色いハンカチ、一次避難所から佐野小へ移動など) ・24 時間いつでも災害が発生する可能性あり⇒日中、自宅にいる人を調査中(見晴台) 	 様々な訓練の実施 ・消防団ー日体験(大人も子どもも) ・悪天候でもできる訓練も1回は行いたい ・担架搬送を実際に人を乗せたい(4~5人で) ・車がないと移動できない地域 ⇒日々のガソリンチェックが必要
●中学生の参加証明	・学校での呼びかけ効果は大きい	●中学生の参加
・学校からの声掛けで中学生の参加者が増えた	・中学校のテスト週間は参加できない	中学生のやりたい希望を聞く(アンケート)
・夏まつりに中学生の参加者が多かった(約 100 名以上)	⇒防災訓練の日程に配慮(テスト週間以外で)	・中学生の興味を事前に把握するアンケート実施
・地域から参加証を作成(学校からの印がなくて良い)	・中学生も活躍できる訓練	・中学生が親と一緒に参加した場合、見ている者
・中学校では、地域活動参加はハンコやサインなどで証明	役割を与えられるとやりがいを感じられる	が多いが、共に体験することを主としたい
としてよいとしている	⇒参加した中学生に明確な役割を持たせる	防災キャンプへの中学生奉仕
・佐野小では、防災キャンプで放水体験、立ちかまど製作		●防災キャンプを継続したい
をしている		・防災キャンプで消防団員の放水体験、自治会の
		ガラス飛散防止フィルムの体験など、様々な体
		験ができて良かったので、今後も続けてほしい
・避難して点呼だけだと参加者が少ない気がする	●訓練以外の魅力をプラス	●訓練参加に向けた地域の雰囲気づくり
・普段の小さい訓練から参加者が増えてほしい	・訓練だと来ない人でも別の企画だと参加する	・地域全員が参加する雰囲気をつくっていく(子
・訓練で大学芋を配っている(とん汁はまだ…)	・訓練ではなく、別の名目で勧誘すると良い	どもも大人も参加)
	•(一般)参加しない理由を聞くのも 1 つの方法	

[※]下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

テーマ別会議②:「佐野と見晴台の交流を深める取り組みを実践しよう!」

現状・課題	解決策	取り組めそうなこと(案)
●子ども会同士の交流が始まったが、課題もある	●子ども会同士交流の機会を!	●子ども会から自治会に要望を出してみる
・佐野と見晴台の子ども会役員が話し合い、お互い	⇒何か1つ重点的にやるべき	・まずは話し合ってみる(要望を出し合う)
のお祭りへ招待した(交流できて良かった)		・子ども会は、親だけでは大変
・佐野と見晴台の子ども会同士の交流をどこまです	●佐野のお祭りに招待	・自治会・子ども会合同で
ればいいのかわからない(模擬店を一緒にやるべ	・佐野の神社のお祭りに呼ぶ	・来年の行事は早くから準備するので、早く要望を出すべき
きか?ただ単に招待していればよいのか?)	・一度に大勢は大変(「学年別」「毎年6年	
・実際に交流してみて、子ども会同士の交流(費用	生を招待」など、少しずつ呼ぶ)	
負担や駐車場の確保)には自治会の協力も必要だ		
とわかった		
・見晴台では、来年から役員や行事を減らす		
	●子どもが遊ぶ場として学校の活用	●PTA と話し合い、試験的に導入を
	・遅い時間帯にスクールバスを出し、放課	・PTA との話し合いが必要だが、試験的に月に数回放課後の
	後に学校で遊べるようにしたい	日を作ったらどうか
	・放課後の事故等は親と子の責任で	
●多世代交流のイベントの周知に課題		●ターゲットを決めて周知する
<前回からの活動結果>秋の遠足の参加者		・自治会の回覧だけでなく、子ども会の回覧でも回す
…見晴台 59 名、佐野 1 名(過去最高)		・学校にチラシの配布に協力してもらい、学校→子ども→親
・回覧は回したが、佐野の参加者が少なかった		へと周知する
・回覧の枚数が多いので、見落としやすい		・なんでもかんでも学校経由だと困る(必要に応じて協力は
・秋の遠足の企画内容は良かったが、宣伝の仕方に		するが…)
問題がある 		
・保育園と地域の関わりの場が少ない	・目的をはっきりさせる(例:防災)	●保育園と地域でできることを考えてみる
		・佐野でやっていることに興味を持ってもらう
		・高齢者の協力を得て農業体験
		・地区で作った芋でスイートポテトづくり

[※]下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

テーマ別会議①:「みんなが活躍できる防災訓練を企画してみよう!」



テーマ別会議②:「佐野と見晴台の交流を深める取り組みを実践しよう!」

